

# ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース／Bコース

## 運用報告書(全体版)

第21期（決算日2024年11月18日）

作成対象期間（2023年11月21日～2024年11月18日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

#### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース	Bコース
商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2003年11月19日から2028年11月20日までです。	
運用方針	世界主要市場のバイオテクノロジー関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。世界のバイオテクノロジー関連企業の中から高い成長が期待される企業の株式を医学・薬学的視点から調査、評価して投資銘柄を選定します。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。	
主な投資対象	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース/Bコース マザーファンド	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券を主要投資対象とします。 世界主要市場のバイオテクノロジー関連企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース/Bコース マザーファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 株式への投資割合には制限を設けません。ただし、未上場・未登録の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
分配方針	毎決算時に、原則として繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額の水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	

### 野村アセットマネジメント株式会社

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

●サポートダイヤル

**0120-753104**（受付時間）営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<https://www.nomura-am.co.jp/>

<Aコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率	ナスダック・バイオテクノロジー株指数トータルリターン(円ヘッジベース)	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
17期(2020年11月18日)	26,336	1,300	31.8	50,899.73	25.2	93.3	—	28,050
18期(2021年11月18日)	24,150	1,200	△3.7	55,701.08	9.4	97.2	—	20,237
19期(2022年11月18日)	18,903	950	△17.8	48,434.99	△13.0	92.8	—	14,407
20期(2023年11月20日)	15,794	500	△13.8	41,521.53	△14.3	95.0	—	9,740
21期(2024年11月18日)	17,967	700	18.2	45,958.71	10.7	95.0	—	7,754

\* 基準価額の騰落率は分配金込み。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

※2024年11月18日基準の運用報告書より、「配当無し」の指数から「配当込み指数」に変更しております。

\* 参考指数(=ナスダック・バイオテクノロジー株指数トータルリターン(円ヘッジベース))は、ナスダック・バイオテクノロジー株指数(US\$ベース)を当社が独自にヘッジコストを考慮して円換算したものです。

(出所) ブルームバーグ

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首) 2023年11月20日	円	%		%	%	%
	15,794	—	41,521.53	—	95.0	—
11月末	15,951	1.0	41,735.48	0.5	93.1	—
12月末	19,370	22.6	47,999.92	15.6	96.1	—
2024年1月末	19,412	22.9	48,159.24	16.0	96.8	—
2月末	20,591	30.4	48,848.18	17.6	96.2	—
3月末	19,628	24.3	47,672.24	14.8	97.7	—
4月末	18,101	14.6	45,025.53	8.4	99.0	—
5月末	18,126	14.8	46,828.29	12.8	96.8	—
6月末	19,306	22.2	48,536.54	16.9	98.0	—
7月末	20,366	28.9	51,356.16	23.7	94.6	—
8月末	20,336	28.8	51,501.52	24.0	96.9	—
9月末	19,436	23.1	49,865.22	20.1	96.0	—
10月末	19,642	24.4	49,355.60	18.9	98.2	—
(期末) 2024年11月18日	18,667	18.2	45,958.71	10.7	95.0	—

\* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Bコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率	ナスダック・バイオテクノロジー株指数トータルリターン(円換算ベース)	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
17期(2020年11月18日)	28,991	1,500	26.3	65,388.67	21.3	94.8	—	30,332
18期(2021年11月18日)	29,212	1,500	5.9	78,848.40	20.6	97.2	—	24,916
19期(2022年11月18日)	28,491	1,400	2.3	85,609.91	8.6	93.5	—	22,062
20期(2023年11月20日)	26,405	1,300	△ 2.8	82,790.34	△ 3.3	95.4	—	16,381
21期(2024年11月18日)	32,433	1,500	28.5	99,644.68	20.4	96.2	—	17,233

\* 基準価額の騰落率は分配金込み。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

※2024年11月18日基準の運用報告書より、「配当無し」の指数から「配当込み指数」に変更しております。

\* 参考指数（＝ナスダック・バイオテクノロジー株指数トータルリターン（円換算ベース））は、ナスダック・バイオテクノロジー株指数（US\$ベース）を当社が独自に円換算したものです。  
 (出所) ブルームバーグ

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首) 2023年11月20日	円	%		%	%	%
	26,405	—	82,790.34	—	95.4	—
11月末	26,211	△ 0.7	81,750.28	△ 1.3	94.1	—
12月末	30,986	17.3	91,098.41	10.0	96.1	—
2024年1月末	32,451	22.9	95,558.59	15.4	96.8	—
2月末	35,341	33.8	99,419.84	20.1	96.2	—
3月末	33,975	28.7	97,958.11	18.3	97.8	—
4月末	32,604	23.5	96,364.33	16.4	98.3	—
5月末	32,806	24.2	100,581.98	21.5	96.5	—
6月末	36,004	36.4	107,591.00	30.0	97.0	—
7月末	36,153	36.9	108,252.52	30.8	97.5	—
8月末	34,358	30.1	103,587.02	25.1	97.4	—
9月末	32,517	23.1	99,314.75	20.0	98.0	—
10月末	35,454	34.3	106,267.78	28.4	97.8	—
(期末) 2024年11月18日	33,933	28.5	99,644.68	20.4	96.2	—

\* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

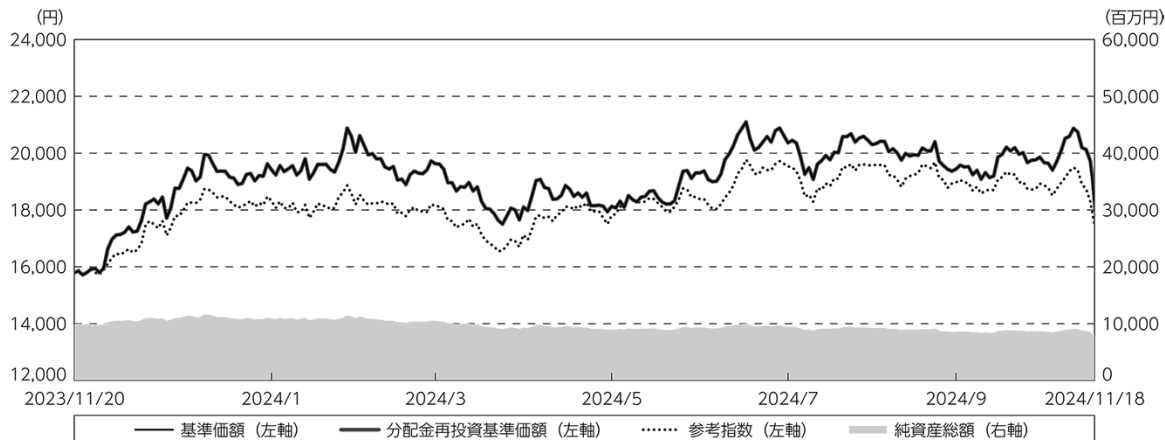
\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## <Aコース>

### ◎運用経過

#### ○期中の基準価額等の推移



期首：15,794円

期末：17,967円（既払分配金（税込み）：700円）

騰落率：18.2%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2023年11月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、ナスダック・バイオテクノロジー株指数トータルリターン（円ヘッジベース）です。参考指数は、作成期首（2023年11月20日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

#### ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首15,794円から期末17,967円となりました。

- ・ 2023年12月、米大手半導体メーカーがAI半導体市場の見通しを大きく上方修正したことや、FOMC（米連邦公開市場委員会）において2024年末にかけての政策金利引き下げが示唆されたこと
- ・ 2024年1月、FRB（米連邦準備制度理事会）がインフレ状況を判断する上で重視するPCE（個人消費支出）コア価格指数が、12月は前年同月比でほぼ3年ぶりの低い伸びとなったこと
- ・ 2月、複数の大手IT関連企業が2023年10-12月期決算で市場予想を上回る決算を発表したこと
- ・ 3月、FRBのパウエル議長が利下げ開始に前向きな見解を示したこと

## &lt;Aコース&gt;

- ・ 4月、FRB高官がインフレ抑制に関して時間をかけて対応することが賢明だと述べたことにより、早期の利下げ期待が後退したこと
- ・ 5月、4月の米雇用統計において雇用者数や平均時給の伸び率が市場予想を下回り、市場で早期の利下げへの期待が高まったこと
- ・ 6月、5月の米CPI（消費者物価指数）や米PPI（生産者物価指数）が市場予想を下回ったことで、市場で利下げ期待が高まったこと
- ・ 8月、7月の米ISM製造業景況指数が景気判断の節目となる50を4ヵ月連続で下回ったことや、米国の7月失業率が4.3%と約3年ぶりの高水準となったことなどから景気悪化懸念が強まったこと
- ・ 9月、FOMCにおいて政策金利の0.5%引き下げが決定され、FRBが労働市場を下支えする姿勢を明確化したこと
- ・ 11月、次期米大統領にトランプ氏が選出され、厚生長官にワクチン懐疑論者である人物を起用すると発表されたこと

## <Aコース>

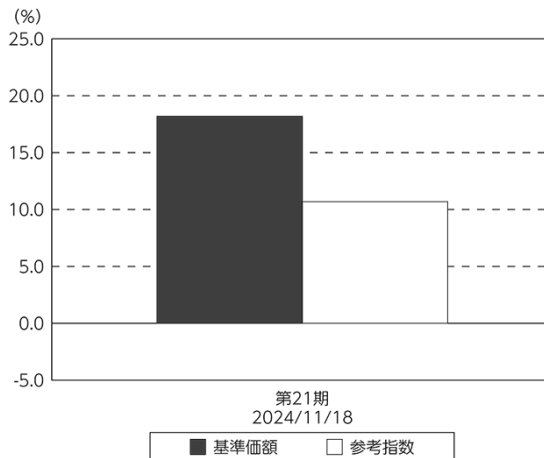
### ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているナスダック・バイオテクノロジー株指数トータルリターン（円ヘッジベース）の10.7%の上昇に対し、基準価額は18.2%の上昇となりました。主なプラスの差異要因としては、ワクチンの競争激化などを背景に通期の業績見通しを引き下げた米バイオテクノロジー株などをアンダーウェイト（参考指数と比べ低めの投資比率）としていたことや、多発性硬化症治療薬が好調で、四半期決算が市場予想を上回り、通期の見通しも引き上げた米バイオ医薬品会社などをオーバーウェイト（参考指数と比べて高めの投資比率）としていたことなどがあげられます。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、ナスダック・バイオテクノロジー株指数トータルリターン（円ヘッジベース）です。

### ◎分配金

基準価額水準などを勘案し、1万口当たり700円の収益分配を行ないました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

### ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第21期
	2023年11月21日～ 2024年11月18日
当期分配金 (対基準価額比率)	700 3.750%
当期の収益	50
当期の収益以外	649
翌期繰越分配対象額	12,946

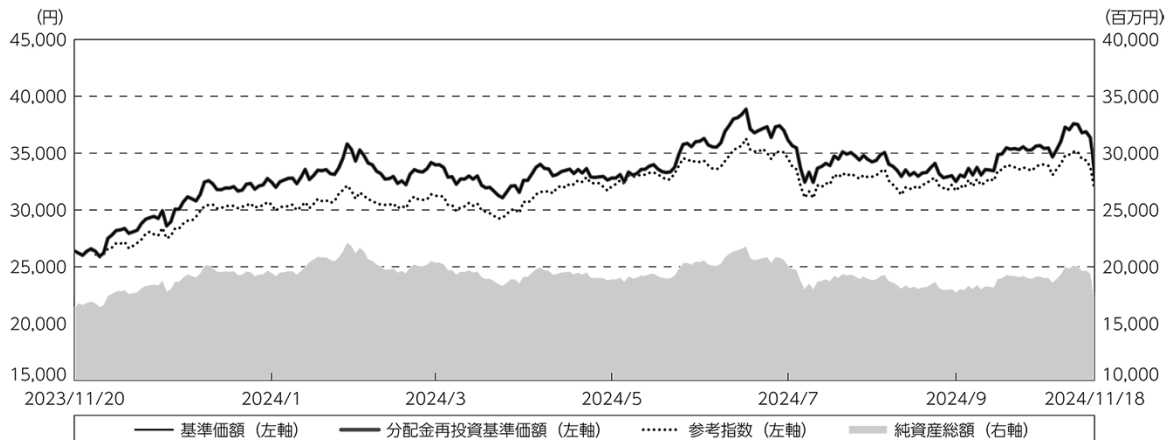
(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Bコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：26,405円

期末：32,433円 (既払分配金(税込み)：1,500円)

騰落率： 28.5% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2023年11月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、ナスダック・バイオテクノロジー株指数トータルリターン(円換算ベース)です。参考指数は、作成期首(2023年11月20日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首26,405円から期末32,433円となりました。

- ・2023年12月、米大手半導体メーカーがAI半導体市場の見通しを大きく上方修正したことや、FOMC(米連邦公開市場委員会)において2024年末にかけての政策金利引き下げが示唆されたこと、FRB(米連邦準備制度理事会)による利下げ期待の高まりなどにより日米金利差が縮小し、円高・ドル安となったこと
- ・2024年1月、FRBがインフレ状況を判断する上で重視するPCE(個人消費支出)コア価格指数が、12月は前年同月比でほぼ3年ぶりの低い伸びとなったこと、FRBによる早期利下げ期待が後退し円安・ドル高となったこと

## &lt;Bコース&gt;

- ・ 2月、複数の大手IT関連企業が2023年10-12月期決算で市場予想を上回る決算を発表したこと
- ・ 3月、FRBのパウエル議長が利下げ開始に前向きな見解を示したこと、日銀が緩和的な金融政策を維持する見通しを示し、日米金利差の拡大期待が高まり円安・ドル高となったこと
- ・ 4月、FRB高官がインフレ抑制に関して時間をかけて対応することが賢明だと述べたことにより、早期の利下げ期待が後退したこと、為替市場で円安・ドル高となったこと
- ・ 5月、4月の米雇用統計において雇用者数や平均時給の伸び率が市場予想を下回り、市場で早期の利下げへの期待が高まったこと
- ・ 6月、5月の米CPI（消費者物価指数）や米PPI（生産者物価指数）が市場予想を下回ったこと、米経済の力強さから日米金利差の大きい状態が続くとの見方が強まり円安・ドル高となったこと
- ・ 8月、7月の米ISM製造業景況指数が景気判断の節目となる50を4ヵ月連続で下回ったことや、米国の7月失業率が4.3%と約3年ぶりの高水準となったことなどから景気悪化懸念が強まったこと、景気悪化懸念による米利下げ期待などから為替市場で円高・ドル安となったこと
- ・ 9月、FOMCにおいて政策金利の0.5%引き下げが決定され、FRBが労働市場を下支えする姿勢を明確化したこと、米国の景気悪化懸念を受けた米利下げなどから日米金利差が縮小するとの見方が強まり円高・ドル安となったこと
- ・ 11月、次期米大統領にトランプ氏が選出され、厚生長官にワクチン懐疑論者である人物を起用すると発表されたこと



<Bコース>

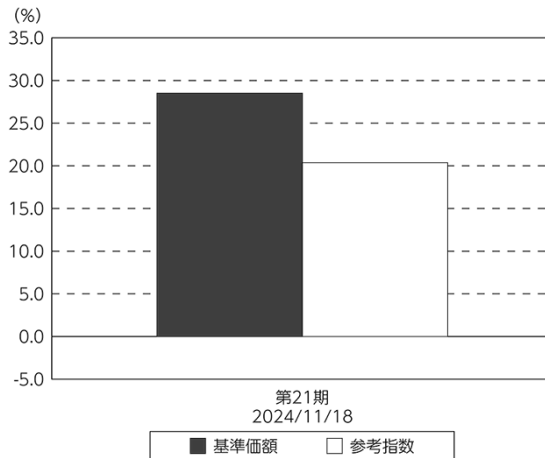
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているナスダック・バイオテクノロジー株指数トータルリターン（円換算ベース）の20.4%の上昇に対し、基準価額は28.5%の上昇となりました。主なプラスの差異要因としては、ワクチンの競争激化などを背景に通期の業績見通しを引き下げた米バイオテクノロジー株などをアンダーウェイト（参考指数と比べ低めの投資比率）としていたことや、多発性硬化症治療薬が好調で、四半期決算が市場予想を上回り、通期の見通しも引き上げた米バイオ医薬品会社などをオーバーウェイト（参考指数と比べて高めの投資比率）としていたことなどがあげられます。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。  
 (注) 参考指数は、ナスダック・バイオテクノロジー株指数トータルリターン（円換算ベース）です。

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、1万口当たり1,500円の収益分配を行ないました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第21期
	2023年11月21日～ 2024年11月18日
当期分配金	1,500
(対基準価額比率)	4.420%
当期の収益	1,500
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	22,433

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## &lt;Aコース/Bコース&gt;

**○投資環境**

期中のナスダック・バイオテクノロジー株指数は、M&A（企業の合併・買収）の動きが活発化したことや、FRBによる金融緩和期待を背景に、中小型株全般が反発基調を強めたことなどから、前期末比でプラスとなりました。

為替市場では、期初の148円台で始まったドル円レートは、日銀が緩和的な金融政策を維持する見通しを示したことや、米経済の力強さから日米金利差の拡大期待が高まったことなどから一時161円台まで円安が進み、期末には154円台となりました。

<Aコース/Bコース>

**○当ファンドのポートフォリオ**

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース] および [ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Bコース] は、主要投資対象である [ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れました。

**[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド]**

**・株式組入比率**

期を通じておおむね高位を維持しました。

**・期中の主な動き**

- (1) 世界のバイオテクノロジー関連企業の中から高い成長が期待される企業の株式を医学・薬学的視点から調査、評価して投資銘柄を選定しました。
- (2) 画期的、かつニーズが高く将来性が期待される薬品や既存薬にない特徴を有した薬品で、開発の最終段階に近づいている企業などに注目した他、バイオテクノロジー業界内で多くの新興企業の中から銘柄を発掘するなど、厳選した企業に対する投資を行なって参りました。
- (3) また、薬価問題への関心が高まる中、高いイノベーション（技術革新）能力と戦略的展望のある企業にも注目し、ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）分析を行なった他、科学面および臨床データの評価や、未だ満たされていない医療ニーズの重要度、薬価や治療薬への患者のアクセスの妥当性などを考慮し銘柄選定を行ないました。

**[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース]**

**・株式組入比率**

実質株式組入比率は、期を通じておおむね高位を維持しました。

**・為替ヘッジ**

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質外貨建資産に対して対円での為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図りました。

**[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Bコース]**

**・株式組入比率**

実質株式組入比率は、期を通じておおむね高位を維持しました。

**・為替ヘッジ**

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジを行ないませんでした。

<Aコース/Bコース>

## ◎今後の運用方針

### [ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド]

#### ・投資環境

バイオ医薬品株式市場で2023年に大型案件が多くみられたM&Aの動きは、2024年は低調な推移となっていますが、大手医薬品企業が主力薬の特許切れの問題に直面していることもあり、米国大統領選挙後には案件の増加が期待されます。特にフェーズ2（臨床試験の中間段階）で良好な治験結果が示された治療薬候補を有するなど買収後のリスクの低い銘柄が注目されます。新薬の開発では、遺伝子治療や免疫学系、循環器系、中枢神経系、がん領域などが注目されます。また資金調達については、新薬の開発が順調な企業はスムーズに進められています。一方、IPO（新規株式公開）は依然として低調な状況が続いています。引き続き米国の金融政策、マクロ経済の動向、米国のトランプ新政権の政策動向には注視が必要と考えます。

長期的には、医薬品に関連する医療費についての議論が大きく変化していることがわかります。いくつかの国では治療の有効性に応じて医療費を支払う制度（価値に基づく医療）が利用されていますが、処方薬で最大のマーケットである米国においても、従来の出来高払い方式ではなく、同様の制度を求める声は、ますます大きくなっています。医薬品企業と同様に政府、規制当局、保険業者は、医薬品の開発においてイノベーションを抑制することなく、医薬品の費用を効率的に管理することができる妥協案を見つけることを必要としています。最も重要な利害関係者である患者は、破産のリスクにさらされることなく、高品質の治療を受けたいと考えています。これは、治療薬の開発といった科学的側面だけでなく、ビジネスモデルや先進的な思考、価値に基づいた契約といった側面においてもイノベーションを生む良い機会となると考えます。さらにAIの進歩はバイオ医薬品業界のイノベーションに大きな役割を果たすことが期待されます。

#### ・運用方針

当ファンドは引き続き、堅固な事業基盤を有し、優秀な経営陣を擁する企業を厳選し、高いイノベーション能力と強い戦略的展望のある企業を選定することが、投資家の利益につながると考えます。綿密なファンダメンタルズ分析と科学面および臨床データの評価に加え、未だ満たされていない医療ニーズを満たすような薬や新薬候補を有する企業に注目していく方針です。

### [ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース]

主要投資対象である [ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建資産については為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。

### [ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Bコース]

主要投資対象である [ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建資産については為替ヘッジを行なわない方針です。

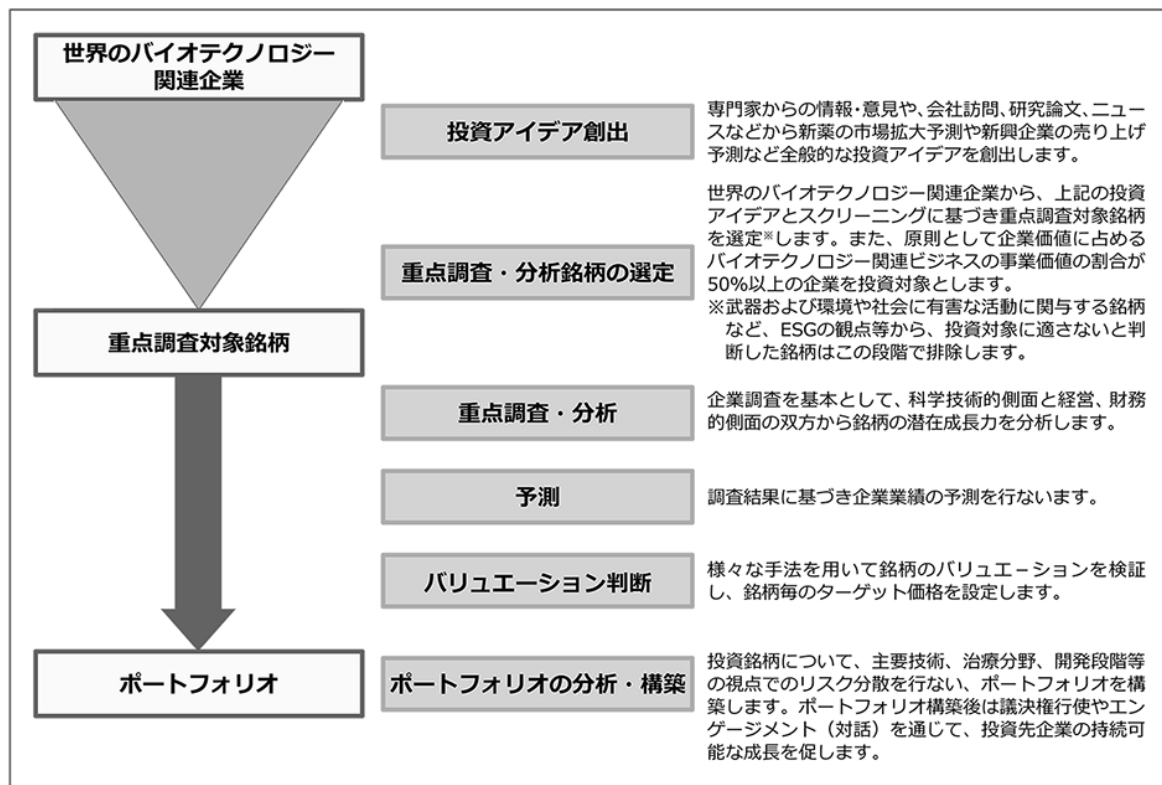
今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

<Aコース/Bコース>

## ◎（ご参考）マザーファンドのESG運用について

### ○運用プロセス図

当ファンドは下記のプロセスに基づいて運用されています。



\*前記の銘柄選択の視点、投資プロセス等は、バイオテクノロジー技術の発展などにより適宜見直しを行ないます。また、重点調査・分析やポートフォリオの構築にあたっては、ESGの観点からも投資銘柄の評価・分析を行ないます。

## &lt;Aコース/Bコース&gt;

## ○主要組入銘柄の解説とESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由

## ★ギリアド・サイエンシズ（米国）

## ①事業内容

同社はバイオ医薬品メーカーです。研究に基づき、重篤な疾患に苦しむ患者の看護を進歩させる治療法の発見、開発、商品化に従事しています。

## ②ESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由

エイズ/HIV感染者治療のパイオニアであり、患者が通常の生活を送れるレベルまで病気を抑制する治療薬を提供するだけでなく、感染しないための予防薬も提供するなど革新を続けています。更に、途上国向けなどに安価な治療薬も提供するなど、この分野におけるリーダーシップを発揮し、患者さんや医師から多くの信頼を得ています。

## ★インスメッド（米国）

## ①事業内容

同社はバイオ医薬品メーカーで、重度・希少疾病患者の生活発展・変換に従事しています。

## ②ESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由

完治が非常に難しく致命的となりうるマイコバクテリウム・アビウムコンプレックスによる肺非結核性抗酸菌症の治療薬を有している会社であり、標準治療よりも優れた治療率を誇る同社の治療薬により、患者の生活の質と余命が大幅に改善するだけでなく、継続的な対症療法や医師・病院への通院にかかる費用を削減することに貢献しています。また、同社は未だ満たされていない医療ニーズの高い感染症分野においても重要な役割を果たしています。

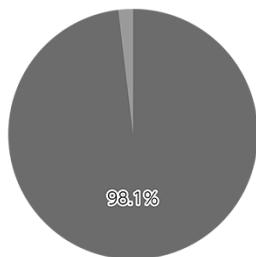
<Aコース/Bコース>

**○当ファンドにおけるサステナブル投資**

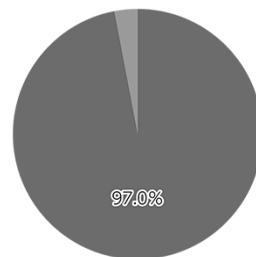
ファンドでは、世界主要市場のバイオテクノロジー関連企業の株式への投資を通じて、人々の健康をサポートする企業群へ投資を行ないます。

※原則として企業価値に占めるバイオテクノロジー関連ビジネスの事業価値の割合が50%以上の企業を投資対象とします。2024年9月末時点、ポートフォリオにおける同銘柄への投資比率は純資産総額の98.1%、ポートフォリオの企業価値に占めるバイオテクノロジー関連企業の事業価値割合は、97.0%でした。

バイオテクノロジー関連企業への投資比率



バイオテクノロジー関連企業の事業価値割合



また、ポートフォリオでは国際的な規範から大きく外れる銘柄や、兵器に関連する銘柄へは投資していません。

(出所) ピクテ

**○スチュワードシップ活動**

ファンドでは、エンゲージメントと議決権行使を通じて、投資先企業の企業価値向上に資する、長期的な株式利益を尊重した経営を行なうよう求めます。

野村アセットマネジメントが議決権行使を担当し、ピクテ・アセット・マネジメント・リミテッド、ピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイおよびピクテ・ジャパン株式会社がエンゲージメントを担当します。

ピクテ・アセット・マネジメント・リミテッド、ピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイおよびピクテ・ジャパン株式会社のエンゲージメント活動の詳細は、以下のサイト（「野村アセットマネジメントの主なESGファンド」）内、「外部委託ファンドのスチュワードシップ方針/スチュワードシップ活動」にある「ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン」の「スチュワードシップの活動はこちら」より、ピクテ・ジャパン株式会社のサイトにアクセスいただくと、ご覧いただけます。

<https://www.nomura-am.co.jp/special/esg/esg-integration/esglineup.html#esglineup4>

野村アセットマネジメントの議決権行使の詳細は、以下のサイト「野村アセットマネジメントの責任投資」にアクセスいただくと、ご覧いただけます。

<https://www.nomura-am.co.jp/special/esg/>

<Aコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年11月21日～2024年11月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 399	% 2.079	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(210)	(1.094)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(168)	(0.875)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	( 21)	(0.109)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	14	0.071	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	( 14)	(0.071)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.002	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	( 0)	(0.002)	
(d) そ の 他 費 用	5	0.027	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 5)	(0.024)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	418	2.179	
期中の平均基準価額は、19,188円です。			

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
 \* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
 \* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。  
 \* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

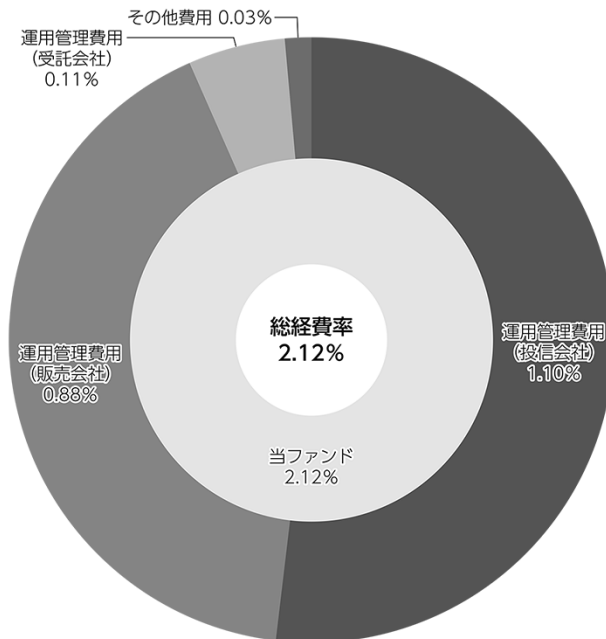


## <Aコース>

(参考情報)

### ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.12%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 当ファンドのその他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託事務の処理に要するその他の諸費用等が含まれます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<Aコース>

○売買及び取引の状況

(2023年11月21日～2024年11月18日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	千口 616,061	千円 5,219,216	千口 1,145,283	千円 10,225,000

\*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2023年11月21日～2024年11月18日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額		50,195,664千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額		28,166,962千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)		1.78

\* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2023年11月21日～2024年11月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年11月18日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	千口 1,308,681	千口 779,460	千円 7,496,768

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

<Aコース>

○投資信託財産の構成

(2024年11月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	7,496,768	87.8
コール・ローン等、その他	1,042,471	12.2
投資信託財産総額	8,539,239	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（26,180,345千円）の投資信託財産総額（26,290,559千円）に対する比率は99.6%です。

\*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=154.35円、1デンマーククローネ=21.82円、1ユーロ=162.78円、1香港ドル=19.83円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年11月18日現在)

○損益の状況 (2023年11月21日～2024年11月18日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	15,663,139,839
コール・ローン等	361,419,925
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド(評価額)	7,496,768,622
未収入金	7,804,948,940
未収利息	2,352
(B) 負債	7,908,183,775
未払金	7,467,516,627
未払収益分配金	302,131,771
未払解約金	44,314,746
未払信託報酬	94,072,158
その他未払費用	148,473
(C) 純資産総額(A-B)	7,754,956,064
元本	4,316,168,163
次期繰越損益金	3,438,787,901
(D) 受益権総口数	4,316,168,163口
1万口当たり基準価額(C/D)	17,967円

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	182,118
受取利息	188,949
支払利息	△ 6,831
(B) 有価証券売買損益	1,431,970,442
売買益	4,324,500,740
売買損	△2,892,530,298
(C) 信託報酬等	△ 202,895,161
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,229,257,399
(E) 前期繰越損益金	△2,402,767,870
(F) 追加信託差損益金	4,914,430,143
(配当等相当額)	( 5,171,753,191)
(売買損益相当額)	(△ 257,323,048)
(G) 計(D+E+F)	3,740,919,672
(H) 収益分配金	△ 302,131,771
次期繰越損益金(G+H)	3,438,787,901
追加信託差損益金	4,914,430,143
(配当等相当額)	( 5,171,892,200)
(売買損益相当額)	(△ 257,462,057)
分配準備積立金	416,217,384
繰越損益金	△1,891,859,626

(注) 期首元本額は6,167,383,690円、期中追加設定元本額は187,598,792円、期中一部解約元本額は2,038,814,319円、1口当たり純資産額は1,7967円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額213,596,571円。(ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド)

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## <Aコース>

(注) 分配金の計算過程 (2023年11月21日～2024年11月18日) は以下の通りです。

項 目	当 期
	2023年11月21日～ 2024年11月18日
a. 配当等収益(経費控除後)	21,816,190円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	5,171,892,200円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	696,532,965円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	5,890,241,355円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	13,646円
g. 分配金	302,131,771円
h. 分配金(1万円当たり)	700円

## ○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金(税込み)	700円
----------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

## ○お知らせ

①ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンドの運用の外部委託先であるピクテ・アセット・マネジメント・リミテッドおよびピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイに運用の権限委託する範囲を「株式(主として海外株式)の運用」から「株式(主として海外株式)および為替等の運用」に変更する所要の約款変更を行ないました。

<変更適用日: 2024年2月16日>

②投資信託約款に規定している委託者が行なう公告を掲載する当社ホームページのアドレスを「<http://www.nomura-am.co.jp/>」から「<https://www.nomura-am.co.jp/>」に変更する所要の約款変更を行ないました。

<変更適用日: 2024年7月4日>

2024年11月5日より、ファンドの設定解約の申込締切時間を以下の記載のとおり変更いたしました。

原則、午後3時30分までに、販売会社が受付けた分を当日のお申込み分とします。

(販売会社によっては上記と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。)

<Bコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年11月21日～2024年11月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 691	% 2.079	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(364)	(1.094)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(291)	(0.875)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	( 36)	(0.109)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	24	0.072	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	( 24)	(0.072)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	1	0.002	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	( 1)	(0.002)	
(d) そ の 他 費 用	9	0.026	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 8)	(0.023)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	725	2.179	
期中の平均基準価額は、33,238円です。			

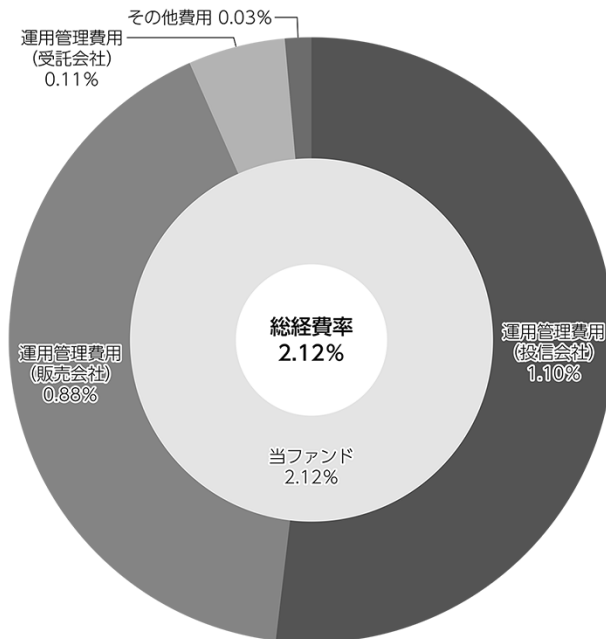
\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
 \* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
 \* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。  
 \* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## <Bコース>

### (参考情報)

#### ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.12%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 当ファンドのその他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託事務の処理に要するその他の諸費用等が含まれます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## &lt;Bコース&gt;

## ○売買及び取引の状況

(2023年11月21日～2024年11月18日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	千口 538,675	千円 4,722,996	千口 996,673	千円 9,245,644

\*単位未満は切り捨て。

## ○株式売買比率

(2023年11月21日～2024年11月18日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額		50,195,664千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額		28,166,962千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)		1.78

\*(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2023年11月21日～2024年11月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2024年11月18日現在)

## 親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	千口 2,211,329	千口 1,753,330	千円 16,863,361

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

<Bコース>

○投資信託財産の構成

(2024年11月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	16,863,361	92.0
コール・ローン等、その他	1,458,514	8.0
投資信託財産総額	18,321,875	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（26,180,345千円）の投資信託財産総額（26,290,559千円）に対する比率は99.6%です。

\*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=154.35円、1デンマーククローネ=21.82円、1ユーロ=162.78円、1香港ドル=19.83円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年11月18日現在)

○損益の状況 (2023年11月21日～2024年11月18日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	18,321,875,097
コール・ローン等	209,068,369
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド(評価額)	16,863,361,368
未収入金	1,249,444,000
未収利息	1,360
(B) 負債	1,088,834,572
未払収益分配金	797,005,148
未払解約金	91,545,996
未払信託報酬	199,967,751
その他未払費用	315,677
(C) 純資産総額(A-B)	17,233,040,525
元本	5,313,367,657
次期繰越損益金	11,919,672,868
(D) 受益権総口数	5,313,367,657口
1万口当たり基準価額(C/D)	32,433円

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	179,420
受取利息	186,635
支払利息	△ 7,215
(B) 有価証券売買損益	4,090,911,341
売買益	4,949,835,808
売買損	△ 858,924,467
(C) 信託報酬等	△ 401,116,177
(D) 当期損益金(A+B+C)	3,689,974,584
(E) 前期繰越損益金	472,831,415
(F) 追加信託差損益金	8,553,872,017
(配当等相当額)	( 5,788,030,504)
(売買損益相当額)	( 2,765,841,513)
(G) 計(D+E+F)	12,716,678,016
(H) 収益分配金	△ 797,005,148
次期繰越損益金(G+H)	11,919,672,868
追加信託差損益金	8,553,872,017
(配当等相当額)	( 5,788,830,021)
(売買損益相当額)	( 2,765,041,996)
分配準備積立金	3,365,800,851

(注) 期首元本額は6,203,739,836円、期中追加設定元本額は726,776,740円、期中一部解約元本額は1,617,148,919円、1口当たり純資産額は3,2433円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額213,596,571円。(ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド)

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。



## <Bコース>

(注) 分配金の計算過程 (2023年11月21日～2024年11月18日) は以下の通りです。

項 目	当 期
	2023年11月21日～ 2024年11月18日
a. 配当等収益(経費控除後)	48,052,522円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	3,270,175,030円
c. 信託約款に定める収益調整金	8,553,872,017円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	844,578,447円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	12,716,678,016円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	23,933円
g. 分配金	797,005,148円
h. 分配金(1万円当たり)	1,500円

## ○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金(税込み)	1,500円
----------------	--------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

## ○お知らせ

①ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンドの運用の外部委託先であるピクテ・アセット・マネジメント・リミテッドおよびピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイに運用の権限委託する範囲を「株式(主として海外株式)の運用」から「株式(主として海外株式)および為替等の運用」に変更する所要の約款変更を行ないました。

<変更適用日: 2024年2月16日>

②投資信託約款に規定している委託者が行なう公告を掲載する当社ホームページのアドレスを「<http://www.nomura-am.co.jp/>」から「<https://www.nomura-am.co.jp/>」に変更する所要の約款変更を行ないました。

<変更適用日: 2024年7月4日>

2024年11月5日より、ファンドの設定解約の申込締切時間を以下の記載のとおり変更いたしました。

原則、午後3時30分までに、販売会社が受付けた分を当日のお申込み分とします。

(販売会社によっては上記と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。)

# ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド

## 運用報告書

第21期（決算日2024年11月18日）

作成対象期間（2023年11月21日～2024年11月18日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

#### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。 世界のバイオテクノロジー関連企業の中から高い成長が期待される企業の株式を医学・薬学的視点から調査、評価して、投資銘柄を選定します。 株式の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	世界主要市場のバイオテクノロジー関連企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。ただし、未上場・未登録の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント株式会社

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<https://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株組入比率	株先物比率	純資産額
	円	騰落率	ナスダック・バイオテクノロジー株指数 トータルリターン(円換算ベース)	騰落率			
17期(2020年11月18日)	65,738	28.7%	65,388.67	21.3%	95.8%	—	百万円 57,340
18期(2021年11月18日)	71,089	8.1%	78,848.40	20.6%	97.9%	—	44,816
19期(2022年11月18日)	74,228	4.4%	85,609.91	8.6%	94.4%	—	36,011
20期(2023年11月20日)	73,712	△0.7%	82,790.34	△3.3%	95.9%	—	25,946
21期(2024年11月18日)	96,179	30.5%	99,644.68	20.4%	98.3%	—	24,360

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

※2024年11月18日基準の運用報告書より、「配当無し」の指数から「配当込み指数」に変更しております。

\*参考指数(=ナスダック・バイオテクノロジー株指数トータルリターン(円換算ベース))は、ナスダック・バイオテクノロジー株指数(US\$ベース)を当社が独自に円換算したものです。なお、算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算しております。

(出所) ブルームバーグ

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

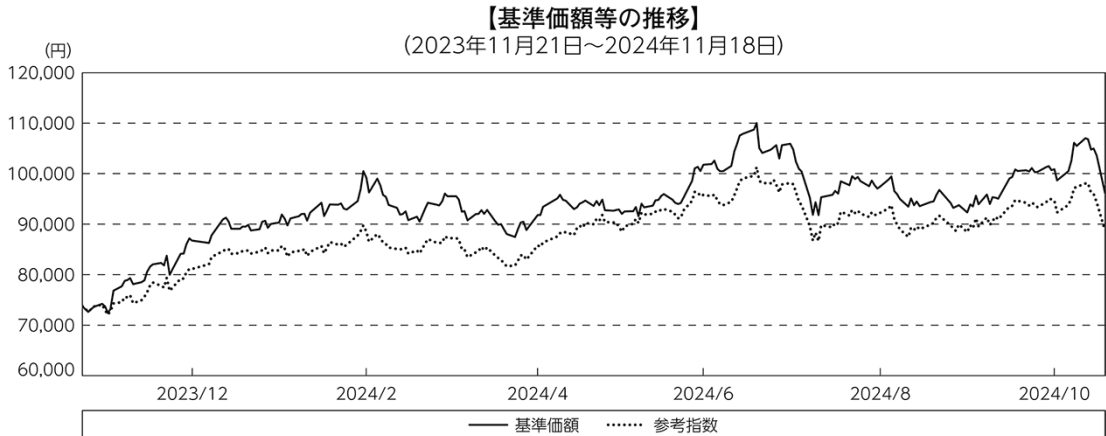
年月日	基準価額		参考指数		株組入比率	株先物比率
	円	騰落率	ナスダック・バイオテクノロジー株指数 トータルリターン(円換算ベース)	騰落率		
(期首) 2023年11月20日	73,712	—	82,790.34	—	95.9%	—
11月末	73,186	△0.7%	81,750.28	△1.3%	94.6%	—
12月末	86,727	17.7%	91,098.41	10.0%	96.6%	—
2024年1月末	91,012	23.5%	95,558.59	15.4%	97.3%	—
2月末	99,181	34.6%	99,419.84	20.1%	96.5%	—
3月末	95,488	29.5%	97,958.11	18.3%	98.2%	—
4月末	91,782	24.5%	96,364.33	16.4%	98.3%	—
5月末	92,494	25.5%	100,581.98	21.5%	97.4%	—
6月末	101,744	38.0%	107,591.00	30.0%	97.9%	—
7月末	102,351	38.9%	108,252.52	30.8%	98.2%	—
8月末	97,400	32.1%	103,587.02	25.1%	97.8%	—
9月末	92,328	25.3%	99,314.75	20.0%	98.1%	—
10月末	100,848	36.8%	106,267.78	28.4%	97.8%	—
(期末) 2024年11月18日	96,179	30.5%	99,644.68	20.4%	98.3%	—

\*騰落率は期首比です。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



(注) 参考指数は、ナスダック・バイオテクノロジー株指数トータルリターン（円換算ベース）です。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

### ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首73,712円から期末96,179円となりました。

- ・ 2023年12月、米大手半導体メーカーがAI半導体市場の見通しを大きく上方修正したことや、FOMC（米連邦公開市場委員会）において2024年末にかけての政策金利引き下げが示唆されたこと、FRB（米連邦準備制度理事会）による利下げ期待の高まりなどにより日米金利差が縮小し、円高・ドル安となったこと
- ・ 2024年1月、FRBがインフレ状況を判断する上で重視するPCE（個人消費支出）コア価格指数が、12月は前年同月比でほぼ3年ぶりの低い伸びとなったこと、FRBによる早期利下げ期待が後退し円安・ドル高となったこと
- ・ 2月、複数の大手IT関連企業が2023年10-12月期決算で市場予想を上回る決算を発表したこと
- ・ 3月、FRBのパウエル議長が利下げ開始に前向きな見解を示したこと、日銀が緩和的な金融政策を維持する見通しを示し、日米金利差の拡大期待が高まり円安・ドル高となったこと
- ・ 4月、FRB高官がインフレ抑制に関して時間をかけて対応することが賢明だと述べたことにより、早期の利下げ期待が後退したこと、為替市場で円安・ドル高となったこと
- ・ 5月、4月の米雇用統計において雇用者数や平均時給の伸び率が市場予想を下回り、市場で早期の利下げへの期待が高まったこと

- ・ 6月、5月の米CPI（消費者物価指数）や米PPI（生産者物価指数）が市場予想を下回ったこと、米経済の力強さから日米金利差の大きい状態が続くとの見方が強まり円安・ドル高となったこと
- ・ 8月、7月の米ISM製造業景況指数が景気判断の節目となる50を4ヵ月連続で下回ったことや、米国の7月失業率が4.3%と約3年ぶりの高水準となったことなどから景気悪化懸念が強まったこと、景気悪化懸念による米利下げ期待などから為替市場で円高・ドル安となったこと
- ・ 9月、FOMCにおいて政策金利の0.5%引き下げが決定され、FRBが労働市場を下支えする姿勢を明確化したこと、米国の景気悪化懸念を受けた米利下げなどから日米金利差が縮小するとの見方が強まり円高・ドル安となったこと
- ・ 11月、次期米大統領にトランプ氏が選出され、厚生長官にワクチン懐疑論者である人物を起用すると発表されたこと

## ○投資環境

期中のナスダック・バイオテクノロジー株指数は、M&A（企業の合併・買収）の動きが活発化したことや、FRBによる金融緩和期待を背景に、中小型株全般が反発基調を強めたことなどから、前期末比でプラスとなりました。

為替市場では、期初の148円台で始まったドル円レートは、日銀が緩和的な金融政策を維持する見通しを示したことや、米経済の力強さから日米金利差の拡大期待が高まったことなどから一時161円台まで円安が進み、期末には154円台となりました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

### ・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

### ・期中の主な動き

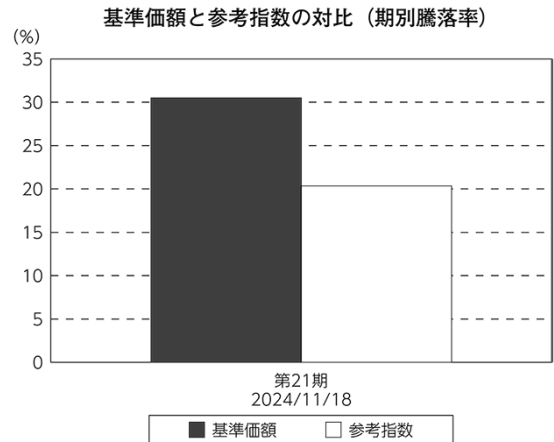
- (1) 世界のバイオテクノロジー関連企業の中から高い成長が期待される企業の株式を医学・薬学的視点から調査、評価して投資銘柄を選定しました。
- (2) 画期的、かつニーズが高く将来性が期待される薬品や既存薬にない特徴を有した薬品で、開発の最終段階に近づいている企業などに注目した他、バイオテクノロジー業界内で多くの新興企業の中から銘柄を発掘するなど、厳選した企業に対する投資を行なって参りました。
- (3) また、薬価問題への関心が高まる中、高いイノベーション（技術革新）能力と戦略的展望のある企業にも注目し、ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）分析を行なった他、科学面および臨床データの評価や、未だ満たされていない医療ニーズの重要度、薬価や治療薬への患者のアクセスの妥当性、などを考慮し銘柄選定を行ないました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているナスダック・バイオテクノロジー株指数トータルリターン（円換算ベース）の20.4%の上昇に対し、基準価額は30.5%の上昇となりました。主なプラスの差異要因としては、ワクチンの競争激化などを背景に通期の業績見通しを引き下げた米バイオテクノロジー株などをアンダーウェイト（参考指数と比べ低めの投資比率）としていたことや、多発性硬化症治療薬が好調で、四半期決算が市場予想を上回り、通期の見通しも引き上げた米バイオ医薬品会社などをオーバーウェイト（参考指数と比べて高めの投資比率）としていたことなどがあげられます。



(注) 参考指数は、ナスダック・バイオテクノロジー株指数トータルリターン（円換算ベース）です。

## ◎今後の運用方針

### ○投資環境

バイオ医薬品株式市場で2023年に大型案件が多くみられたM&Aの動きは、2024年は低調な推移となっていますが、大手医薬品企業が主力薬の特許切れの問題に直面していることもあり、米国大統領選挙後には案件の増加が期待されます。特にフェーズ2（臨床試験の中間段階）で良好な治験結果が示された治療薬候補を有するなど買収後のリスクの低い銘柄が注目されます。新薬の開発では、遺伝子治療や免疫学系、循環器系、中枢神経系、がん領域などが注目されます。また資金調達については、新薬の開発が順調な企業はスムーズに進められています。一方、IPO（新規株式公開）は依然として低調な状況が続いています。引き続き米国の金融政策、マクロ経済の動向、米国のトランプ新政権の政策動向には注視が必要と考えます。

長期的には、医薬品に関連する医療費についての議論が大きく変化していることがわかります。いくつかの国では治療の有効性に応じて医療費を支払う制度（価値に基づく医療）が利用されていますが、処方薬で最大のマーケットである米国においても、従来の出来高払い方式ではなく、同様の制度を求める声は、ますます大きくなっています。医薬品企業と同様に政府、規制当局、保険業者は、医薬品の開発においてイノベーションを抑制することなく、医薬品の費用を効率的に管理することができる妥協案を見つけることを必要としています。最も重要な利害関係者である患者は、破産のリスクにさらされることなく、高品質の治療を受けたいと考えています。これは、治療薬の開発といった科学的側面だけでなく、ビジネスモデルや先進的な思考、価値に基づいた契約といった側面においてもイノベーションを生む良い機会となると考えます。さらにAIの進歩はバイオ医薬品業界のイノベーションに大きな役割を果たすことが期待されます。

### ○運用方針

当ファンドは引き続き、堅固な事業基盤を有し、優秀な経営陣を擁する企業を厳選し、高いイノベーション能力と強い戦略的展望のある企業を選定することが、投資家の利益につながると考えます。綿密なファンダメンタルズ分析と科学面および臨床データの評価に加え、未だ満たされていない医療ニーズを満たすような薬や新薬候補を有する企業に注目していく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年11月21日～2024年11月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	円 67 (67)	% 0.072 (0.072)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	2 ( 2 )	0.002 (0.002)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	21 (21) ( 0 )	0.023 (0.023) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用  信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	90	0.097	
期中の平均基準価額は、93,711円です。			

\*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。



○売買及び取引の状況

(2023年11月21日～2024年11月18日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 29,223	千米ドル 134,878	百株 40,200	千米ドル 193,415
	デンマーク	430	千デンマーククローネ 19,289	119	千デンマーククローネ 13,868

\*金額は受け渡し代金。

\*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2023年11月21日～2024年11月18日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	50,195,664千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	28,166,962千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.78

\* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2023年11月21日～2024年11月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年11月18日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
SPYRE THERAPEUTICS INC	—	505	1,476	227,974	バイオテクノロジー
ALNYLAM PHARMACEUTICALS INC	253	203	4,785	738,590	バイオテクノロジー
AMGEN INC	398	141	4,014	619,638	バイオテクノロジー
AMICUS THERAPEUTICS INC	2,086	—	—	—	バイオテクノロジー
ANNEXON INC	911	—	—	—	バイオテクノロジー
APELLIS PHARMACEUTICALS INC	638	—	—	—	バイオテクノロジー
ARCELLX INC	113	—	—	—	バイオテクノロジー
ARGENX SE-ADR	216	169	9,565	1,476,492	バイオテクノロジー
AVIDITY BIOSCIENCES INC	—	408	1,721	265,666	バイオテクノロジー
AXSOME THERAPEUTICS INC	371	—	—	—	医薬品
BEAM THERAPEUTICS INC	297	—	—	—	バイオテクノロジー
BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC	476	—	—	—	バイオテクノロジー
BIOGEN INC	391	—	—	—	バイオテクノロジー
BIOAGE LABS INC	—	225	412	63,739	医薬品
BLUEPRINT MEDICINES CORP	680	542	4,811	742,630	バイオテクノロジー
BRIDGEBIO PHARMA INC	1,392	859	2,037	314,517	バイオテクノロジー
CARIBOU BIOSCIENCES INC	919	—	—	—	バイオテクノロジー
CELLEX THERAPEUTICS INC	1,635	581	1,369	211,440	バイオテクノロジー
CG ONCOLOGY INC	—	254	835	129,010	バイオテクノロジー
CRINETICS PHARMACEUTICALS INC	—	486	2,664	411,245	バイオテクノロジー
CYTOKINETICS INC	1,048	937	4,706	726,412	バイオテクノロジー
DAY ONE BIOPHARMACEUTICALS	1,019	2,027	2,699	416,619	バイオテクノロジー
DENALI THERAPEUTICS INC	423	—	—	—	バイオテクノロジー
DISC MEDICINE INC	—	73	436	67,299	バイオテクノロジー
EDGEWISE THERAPEUTICS INC	—	178	560	86,466	医薬品
89BIO INC	1,649	2,189	1,736	267,963	バイオテクノロジー
ENLIVEN THERAPEUTICS INC	—	954	2,330	359,644	医薬品
GILEAD SCIENCES INC	302	840	7,432	1,147,164	バイオテクノロジー
IDEAYA BIOSCIENCES INC	447	1,279	3,409	526,288	バイオテクノロジー
IMMUNOGEN INC	3,073	—	—	—	バイオテクノロジー
IMMUNOCORE HOLDINGS PLC ADR	513	—	—	—	バイオテクノロジー
IMMUNOVANT INC	947	715	1,904	294,020	バイオテクノロジー
INCYTE CORP	229	—	—	—	バイオテクノロジー
INSMED INC	1,245	1,049	6,960	1,074,284	バイオテクノロジー
INTELLIA THERAPEUTICS INC	622	—	—	—	バイオテクノロジー
INTRA-CELLULAR THERAPIES INC	1,109	824	6,881	1,062,143	医薬品
IONIS PHARMACEUTICALS INC	1,296	—	—	—	バイオテクノロジー
IOVANCE BIOTHERAPEUTICS INC	3,053	—	—	—	バイオテクノロジー
KARUNA THERAPEUTICS INC	161	—	—	—	バイオテクノロジー
KRYSTAL BIOTECH INC	87	56	960	148,213	バイオテクノロジー
MADRIGAL PHARMACEUTICALS INC	—	87	2,522	389,388	バイオテクノロジー
MIRUM PHARMACEUTICALS INC	376	499	2,221	342,954	バイオテクノロジー
MOONLAKE IMMUNOTHERAPEUTICS	430	184	898	138,746	バイオテクノロジー
MORPHIC HOLDING INC	1,463	—	—	—	バイオテクノロジー
NATERA INC	556	115	1,689	260,815	バイオテクノロジー
NEUROCRINE BIOSCIENCES INC	427	303	3,561	549,751	バイオテクノロジー
NUVALENT INC-A	—	379	3,298	509,067	バイオテクノロジー
NURIX THERAPEUTICS INC	—	1,080	2,477	382,372	バイオテクノロジー

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
OLEMA PHARMACEUTICALS INC	—	1,069	981	151,426	バイオテクノロジー	
PLIANT THERAPEUTICS INC	733	889	1,105	170,693	医薬品	
REGENERON PHARMACEUTICALS	72	67	5,085	784,987	バイオテクノロジー	
REVOLUTION MEDICINES INC	—	126	695	107,293	バイオテクノロジー	
RHYTHM PHARMACEUTICALS INC	365	184	1,034	159,738	バイオテクノロジー	
ROCKET PHARMACEUTICALS INC	294	764	1,069	165,023	バイオテクノロジー	
SAREPTA THERAPEUTICS INC	283	517	5,408	834,766	バイオテクノロジー	
SOLENO THERAPEUTICS INC	—	534	2,769	427,494	バイオテクノロジー	
SPRINGWORKS THERAPEUTICS INC	645	1,233	4,497	694,232	バイオテクノロジー	
STRUCTURE THERAPEUTICS INC	100	—	—	—	医薬品	
TG THERAPEUTICS INC	1,019	1,933	5,712	881,693	バイオテクノロジー	
TOURMALINE BIO INC	—	265	674	104,034	バイオテクノロジー	
ULTRAGENYX PHARMACEUTICAL IN	—	417	1,868	288,394	バイオテクノロジー	
UNITED THERAPEUTICS CORP	—	47	1,710	264,078	バイオテクノロジー	
VAXCYTE INC	979	575	5,000	771,833	バイオテクノロジー	
VERA THERAPEUTICS INC	955	503	2,329	359,496	バイオテクノロジー	
VERTEX PHARMACEUTICALS	216	101	4,748	732,968	バイオテクノロジー	
VIKING THERAPEUTICS INC	—	764	3,790	585,100	バイオテクノロジー	
VIRIDIAN THERAPEUTICS INC	826	688	1,385	213,928	バイオテクノロジー	
XENON PHARMACEUTICALS INC	1,510	656	2,615	403,704	バイオテクノロジー	
Y-MABS THERAPEUTICS INC	—	512	571	88,194	バイオテクノロジー	
ALKERMES PLC	1,671	—	—	—	バイオテクノロジー	
BIOHAVEN LTD	285	180	802	123,808	バイオテクノロジー	
KINIKSA PHARMACEUTICALS INTE	—	750	1,597	246,648	バイオテクノロジー	
KINIKSA PHARMACEUTICALS-A	1,126	—	—	—	バイオテクノロジー	
MURAL ONCOLOGY PLC	167	—	—	—	バイオテクノロジー	
MERUS NV	870	583	2,716	419,284	バイオテクノロジー	
NEWAMSTERDAM PHARMA CO NV	—	891	2,219	342,573	バイオテクノロジー	
小 計	株 数	金額	43,394	32,417	150,773	23,271,965
	銘柄 数	< 比率 >	55	54	—	< 95.5% >
(デンマーク)					千デンマーククローネ	
GENMAB A/S	55	—	—	—	—	バイオテクノロジー
ZEALAND PHARMA A/S	—	366	26,437	576,862	576,862	バイオテクノロジー
小 計	株 数	金額	55	366	26,437	576,862
	銘柄 数	< 比率 >	1	1	—	< 2.4% >
(ユーロ…フランス)					千ユーロ	
ABIVAX SA	662	662	576	93,893	93,893	バイオテクノロジー
ユ ー ロ 計	株 数	金額	662	662	576	93,893
	銘柄 数	< 比率 >	1	1	—	< 0.4% >
合 計	株 数	金額	44,111	33,446	—	23,942,720
	銘柄 数	< 比率 >	57	56	—	< 98.3% >

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

\* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

\* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

## ○投資信託財産の構成

(2024年11月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 23,942,720	% 91.1
コール・ローン等、その他	2,347,839	8.9
投資信託財産総額	26,290,559	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*当期末における外貨建純資産(26,180,345千円)の投資信託財産総額(26,290,559千円)に対する比率は99.6%です。

\*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売相場場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=154.35円、1デンマーククローネ=21.82円、1ユーロ=162.78円、1香港ドル=19.83円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年11月18日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	28,179,599,241 円
コール・ローン等	2,322,507,630
株式(評価額)	23,942,720,960
未収入金	1,914,370,099
未収利息	552
(B) 負債	3,819,484,212
未払金	1,889,040,212
未払解約金	1,930,444,000
(C) 純資産総額(A-B)	24,360,115,029
元本	2,532,790,941
次期繰越損益金	21,827,324,088
(D) 受益権総口数	2,532,790,941口
1万口当たり基準価額(C/D)	96,179円

(注) 期首元本額は3,520,011,280円、期中追加設定元本額は1,154,736,820円、期中一部解約元本額は2,141,957,159円、1口当たり純資産額は9.6179円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額  
 ・ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Bコース 1,753,330,911円  
 ・ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース 779,460,030円

## ○損益の状況 (2023年11月21日～2024年11月18日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	76,739,827 円
受取配当金	41,053,447
受取利息	24,022,690
その他収益金	11,681,996
支払利息	△ 18,306
(B) 有価証券売買損益	7,871,730,075
売買益	10,609,176,210
売買損	△ 2,737,446,135
(C) 保管費用等	△ 6,575,836
(D) 当期損益金(A+B+C)	7,941,894,066
(E) 前期繰越損益金	22,426,641,683
(F) 追加信託差損益金	8,787,475,180
(G) 解約差損益金	△17,328,686,841
(H) 計(D+E+F+G)	21,827,324,088
次期繰越損益金(H)	21,827,324,088

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

---

- ①運用の外部委託先であるピクテ・アセット・マネジメント・リミテッドおよびピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイに運用の権限委託する範囲を「株式（主として海外株式）の運用」から「株式（主として海外株式）および為替等の運用」に変更する所要の約款変更を行ないました。  
＜変更適用日：2024年2月16日＞
  
- ②投資信託約款に規定している委託者が行なう公告を掲載する当社ホームページのアドレスを「<http://www.nomura-am.co.jp/>」から「<https://www.nomura-am.co.jp/>」に変更する所要の約款変更を行ないました。  
＜変更適用日：2024年7月4日＞